



## 長～いかるがもの行列

### 打上川治水緑地

秦町の吉田良一さん（77歳）が親のかるがもと行進する12羽の赤ちゃんを撮影しました。これだけの数は珍しく、話題になっています。

かるがもは全国の水辺で一年中見られます。かつて東京・大手町のビル街から皇居のお堀に引越す愛らしい姿が報じられ、人気を集めました。

同緑地での写真歴が長い吉田さんも12羽の赤ちゃんは初めて。5月に撮影後、知人から「写真を見せてほしい」と、よく頼まれるそうです。

## グラウンド ゴルフは楽しい

### 100歳を迎える 石橋さん

「ホールインワンをするとうれしいですね」12月に100歳を迎える石橋俊子さん（松屋町）が田井西公園でグラウンドゴルフを楽しんでいます。

石橋さんは、茶道の元先生。28年前、勧められてグラウンドゴルフを始めました。今も月2回はプレーし、力強いスイングで年下の仲間を驚かせています。

メンバー50人の誕生日を記憶するほどで、食事会ではビールを楽しんでいます。「健康の秘訣はグラウンドゴルフと茶道。これからも続けたいですね」



## いしぶみ

# 碑

## 野々宮旧跡碑

(堀溝一丁目)

岡部川の堤防を降りたところに、「野々宮旧跡」の大きな自然石が鎮座しています。昭和50年に堀溝自治会と鶯関講が建立しました。碑銘は当時の府知事の書です。

「鶯の関」は、奈良街道の関所で、うぐいすの名所だったことから、その名があります。神社はのちに天満宮と呼ばれ、現在の大念寺が旧跡地といわれます。

京都・嵯峨野の野々宮は、伊勢神宮に赴く齋宮が立ち寄ったところといわれ、関係が注目されます。江戸初期に「鶯の関」跡に移し、合わせて菅原道真を祭りました。

天満宮は明和4年（1767年）ごろに鶯関神社に改称されたと伝わります。変遷を経た野々宮への思いを込めて、地元の人たちが建てたのが旧跡碑です。





## 園児らが芋掘り

「芋って土の中にあるんやね」

やまなみ幼稚園（梅が丘一丁目）の年少クラス80人が9月28日、寝屋一丁目の畑で芋掘りを楽しみました。

同幼稚園の恒例行事で、一人一株をスコップで掘りました。ふだん店先の芋しか知らない園児らは、地中から芋が顔を出すたび、「あったー」と大騒ぎ。

園児らは自分の手より大きな芋を一人6、7個収穫し、満足そうでした。自宅に持って帰り、てんぷらなどにしておいしくいただいたそうです。



## 日本拳法全国大会優勝

9月29日、市立和光小学校1年生の塩澤励奈さん（黒原新町）が市役所を訪れ、9月に大阪で行われた全国大会で優勝したことを北川市長に報告しました。

日本拳法は、防具を装着して、突きや蹴りなどの技を繰り出す格闘技です。

塩澤さんは決勝戦で「絶対負けたくないという気持ちで挑んだ」と言い、勝ったときには「とても嬉しかった」と語っていました。



## 「はちかづきちゃん」の田んぼアート

市のマスコットキャラクター「はちかづきちゃん」の田んぼアートが成田南町の田んぼに出現しました。10月末に収穫祭を開き、収穫した餅米が関係者に贈られました。

南農園恒例のイベント。7月に幼稚園児らが「どろんピック」を開いたあと、摂南大学のボランティアグループらが協力して約15㍓で田植えをしました。

今年は例年使っている赤い古代米の代わりに、生育時期の違う苗を植えたため、くっきり感はいま一つ。それでもはちかづきちゃんは十分、分かりました。

## 空手世界大会で優勝

寝屋川高校の森井さん

府立寝屋川高校1年生、森井翼さんが8月に東京で開かれた「カラテドリームフェスティバル国際大会」の「組手（高校1年男子中量級）」で優勝しました。

所属する新極真会は、寸止めをしない激しい戦いで知られます。決勝ではカザフスタンの選手を相手に多彩な技で圧倒しました。

森井さんは6歳のときから道場に通い、毎日2時間半、練習しています。「練習はきつけれど達成感が好き」と、次は「無差別」での優勝を目指しています。

